

あさご芸術の森 作品案内カード

作品	浮く石ーFloating Stone			
	制作年	1999	素材	鉄・花崗岩
	サイズ(m)	1.8×11×0.9		
作者	植松 奎二		現住所	大阪府
■作品への作者コメント				
<p>僕は以前から人間と石とのかかわりに興味があった。それはドルメン、ストーンヘンジという巨石文明やエジプトのピラミッドのように生きている我々に不可解な、時代を超えてある石の存在であり、石がもつ原始的な力である。その様な石が空中に浮いていたらおもしろいだろうなと思い、前から作りたいと思っていた作品です。この作品は目に見えない重力を目で確かめる発見と驚き、重力のかたちがある。そして、人間と自然の関わりがある。</p> <p>はじめて芸術の森を訪れたとき、山深い地に現代彫刻があることに驚いた。また、緑豊かな自然とロックフィルダムのある光景に出会った彫刻のイメージを強く喚起された。そして、山の稜線、雲や風のながれ、美しい空、穏やかな陽ざし、川のせせらぎの音を身体に浴び、夏の終わりの芸術の森を歩きながら、秋を想い、冬を想い、春を想った。そこに風景のなかの記憶、風景のなかのかたち、という言葉が浮かんだ。そしてつくったのが「浮く石」という作品です。</p> <p>ある朝、低くたれこめた霧の中で、大きな石が浮いただけの不思議で荘厳な光景に朝来の人が出会って感動したという話を聞いて僕はわくわくした。これからも自然と共生する、あるいは以前からそこにあったように息づき、朝来の人々に何かを語りかけるような作品であってほしい。</p>				